

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 12月 14日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104484		
法人名	医療法人社団 江島医院		
事業所名	グループホームもみじの里		
所在地	広島市南区宇品御幸1丁目11-9 (電話) 082-253-0067		
自己評価作成日	令和5年1月12日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104484-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年12月8日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

コロナが5類になったことを受けて、6月より感染予防を行いながら以前のようにいつでも面会出来るようになりました。外出も今まで通りになりましたのでご家族とお買い物やお食事に出かけられたり、近所にお散歩やドライブに出かけられるようになりました。ご家族の方もご利用者様も大変喜ばれています。毎日のお食事は旬の食材など新鮮なものを取り入れ、好きなメニューや食べやすいメニューなどを考え、すべて手作りで行っています。ご利用者の方にも積極的に参加頂き野菜切り、皮むきだけでなく天ぷらやお好み焼き、焼きそば、餃子やお菓子なども一緒に作って頂いています。また、嚥下の難しいかたには刻み食やミキサー食など体調に合わせたお食事も提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

母体医院とともに、整形外科、皮膚科、歯科など定期訪問診療があり、充実した医療体制を整えている。さらに職員は体調不良など些細なことに気づく習慣を身につけ、先を見越した対応を心がけるため重症化にならない配慮をしている。入浴、排泄、咀嚼状況、思いを伝えることが困難など利用者一人ひとりの個性、違いに配慮した個別支援が充実している。事業所のイベントに地域住民を招待したり、子供神輿の訪問や野菜の差し入れがあるなど地域に密着している。利用者の楽しみの一つである食事にも力を入れ、屋上庭園で収穫した旬の野菜を取り入れ、利用者が白菜を切るなど参加型の手作りの食事、食べたいものをリクエストできる食事を職員とともに楽しんでいる。在職10年以上の職員が多く、職員の経験、知恵の継承が利用者のケアに活かされている。

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご利用者様お一人おひとりの尊厳を守り、豊かで素晴らしい人生を送って頂けるよう理念を見えやすいところに掲示したり、業務やミーティングを通して共有し、話し合いを持ち日々実践できるよう心がけています。今年度も毎月、目標を設定し、より実践しやすいようにしています。	理念の意義を共有し実践できるよう、職員意見を反映した毎月目標を管理者が決め利用者目線のケアにつなげている。利用者の健康管理や清潔な環境作り、大きな声で気持ち良い挨拶などの目標が快適な日常生活の継続となり、理念に近づく実践の支援となっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	町内会に入り近隣の方々と交流できるよう努めています。今年度はようやく行事が再開されたためお祭りに参加させていただいたり、地域の大正琴のボランティアの方に来ていただき演奏をしていただきました。	地域の人の訪問を歓迎し、祭りなどの行事に町内会や地域の人を招待して交流を図っている。町内の子供神輿の祭りでは利用者が町内会のはっぴを着て玄関で子供たちと交流を図っている。地域の人から野菜の差し入れなどもあり、日常的に交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域包括支援センターから出ている支えあいマップにホームを紹介していただいています。またお電話等の相談を受けたり、いつでも気軽にホームを見学していただけるように対応しております。今年度は6月より今まで通り中に入って見学をして頂けるようになりました。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、町内会長さんや副会長さんまた地域包括支援センターの方やご家族、スタッフ、施設長等が参加しホーム内の報告や意見交換を行っています。会議で話し合った内容を検討しホームの改善に役立っています。昨年より身体拘束委員会を会議内で話し合っています。	雪だるまづくりやかるた取り、脳トレ、買い物、芋ほりなどの日々の行事報告、地域交流、食事の検食、コロナ禍の面会、転倒などの報告、話し合いがもたれ、推進会議の意見がサービス向上に活かされている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターの方に地域のお年寄りの方の情報や地域のボランティアの方をご紹介いただいたりしています。また同じ区のグループホームの方との話し合いの場を作ってください意見交換をさせていただきます。今年度は8月に宇品公民館で行いました。	地域包括支援センターとは日ごろから連携を取り合って協力関係を築いている。地域包括支援センターには、同地区の他事業所と情報交換の話し合いの場を作ってもらい、ケアサービスの取組みなど、事業所の改善に役立つ情報を得、広い視野からケアの向上の取組みに活かしている。	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>夜間の職員の体制が少ない時間帯以外は、玄関の施錠はせずご利用者様がご自分の家庭のように自由に生活出来るように心がけています。徘徊の危険のある方にはGPSを携帯していただいています。身体拘束適正化のための指針を作成し運営推進会議内で身体拘束廃止委員会を設立しています。</p>	<p>身体拘束をしないケアの事例研修を行って検証、検討して実践につなげている。大声で言わない、後ろから声をかけない、ちょっと待ってを言わないなどスピーチロックをしない取り組みもしている。アンケートを年一回実施し、理解と自己評価を行って身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>継続的に外部研修（リモート）に参加し、その資料を利用しミーティング等で話し合いをしたり、虐待や拘束にあたる内容を職員全員で確認できるようにしています。また、職員にむけてのアンケートを行い自己評価してもらう機会をつくっています。今年度はホーム内で意見交換をしたりネットなどで情報を得て皆で共有しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるような支援している。</p>	<p>資料などを入手し、必要時には関係者と話し合い、支援を行っています。現在、1人の入居者の方に後見人の方がつかれています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に関してはご利用者様やご家族に入所時に説明を行い、ご理解いただくよう努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族にお電話でご要望をお聞きしたり、ご意見箱を設置したり、ご面会時や運営推進会議でも直接ご意見やご要望を聞かせていただいています。聞かせていただいたご意見はできるかぎり反映させていただきます。</p>	<p>利用者や家族から好みの食べ物や得意なこと、趣味などを聞く機会を設け、できるかぎり意見を反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	1ヶ月に1度のホーム全体のスタッフミーティング等で職員の意見や提案を聞き、できるかぎり反映できるように心がけています。	職員の意見、提案は利用者に関してのことが多いが迅速な対応が行われている。食事量が減ってきている利用者には栄養補助食品の提案、呑み込みが難しい利用者にはミキサー食に変えるなど職員の意見が常に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の努力や実績、勤務状況を把握しそれをもとに個々に評価するように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	各自のレベルに合った研修に積極的に参加を促し資格(介護福祉士・介護支援専門員)を習得するようにアドバイス・援助もしています。外部研修を受けるばかりでなく、日頃のケアを見直すきっかけとなるように先輩から後輩にアドバイスしたり、本や研修動画などを使って勉強するように心がけています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同じ地域のグループホームの方と話し合いをしたり、他のグループホーム主催の研修に参加し、意見交換をさせていただいています。コロナのため今年度は8月に意見交換をしました。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前にご本人やご家族に面会し普段の様子やご要望など細かくお話を伺っています。また、入所前の担当のケアマネジャーの方や主治医の先生にも情報をたくさんいただけるようにご協力頂き、職員間で情報を事前に共有し安心して入所いただけるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所前よりご家族からご要望等を伺い、何度も話し合いをしてより良い信頼関係が築けるよう努めています。入所にあたり不安がぬぐい取れない場合には、仮入所の導入もしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様やご家族のご相談内容に合わせ、主治医、他サービス事業者と連携をはかり柔軟に対応するように努めています。定期的に外出希望がある方や以前よりデイサービスを利用されていた方に対しては外部デイケアサービスの利用を支援し要望に応えられるようにしています。現在はお休みしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者様と一緒に時間を過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、また人生の先輩として色々教えて頂きながら暮らしを共にする者同士の関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様により良い支援が出来るようご家族と職員とのカンファレンスを行いご要望やご意見を伺いケアプラン等に活かしています。今年度はやっと面会時にお話出来るようになりました。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族のご協力のもと自宅へ外出や外泊、またスタッフと近所のスーパーへの買い物や時にはご自宅周辺へ出掛けられるよう支援しています。またホームへ近隣のお友達やお知り合いの方に気軽に遊びに来ていただくようお願いをさせて頂いています。6月より今まで通りになりました。	馴染みの友人の訪問時には関係が継続するよう支援している。近隣の散歩のほか、利用者には馴染みの場所である、商業施設へのドライブを楽しむ支援にも努めている。	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	毎日の日課として出来る方を中心に家事へ参加していただいたり、2F、3F共同でレクリエーションをしたりフロアを気軽に行き来できるよう心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても必要に応じてお手紙・電話等にてご連絡をし、またご要望があればいつでも支援できるように努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お一人おひとりの生活スタイルを大切にその方に合わせた日課の構築に努めています。家事のお好きな方にはお料理を手作業がお好きな方には塗り絵や手芸を外出がお好きな方には日光浴や散歩に出かけるなどできるかぎりご希望に添えるように心がけています。常にご本人様の立場になって考えられるよう努めています。	利用時の生活歴を参考にしたり、日常生活で言われた思いなど些細なことも聞き漏らさず、気づく習慣を職員がもてるよう取り組んでいる。例えば、気に入った服を着た時に笑った場合、笑ったねと職員間で共有し支援に反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時よりご本人様のこれまでの生活歴等できるだけたくさんの情報収集を行ったり、日々の生活の中での会話でお好きな物や趣味などを伺い、毎日の生活に生かせるよう配慮しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員は毎日の生活の中でバイタルや水分・食事量や排便のチェックによる健康管理を行い、観察等により心身状態を把握するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は入所時より定期的に作成しています。ケアカンファレンスにはご本人、ご家族、主治医、薬剤師等の意見を反映させ、状況に応じて話し合いを設け柔軟に変更できるようにしています。</p>	<p>利用者、家族、主治医、薬剤師、担当職員の意見を反映した目標プランをケアマネジャーがまとめて、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプランに合わせて個別記録を作成しています。日々の様子をしっかり把握できるよう薬、歩行状態、体調の変化等を記載し職員間で情報を共有しより良いケアの実践に活かしています。また一ヶ月毎にモニタリングをおこない、介護計画の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様やご家族のご要望に応じてデイケアサービスを利用していただいたり、母体の医院と連携をはかり、必要時に往診や通院も出来るようにしています。その他にも（整形外科・皮膚科・歯科・眼科）などの多様な科の先生に往診していただき診察していただいています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内の方にお手伝いいただいて行事を行ったり、町内主催の催し物に参加させていただいたりしています。また同じ区の警察や消防の方とも連携をはかり安全に生活できるよう支援しています。今年度は地域のお祭りに参加させていただきました。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様の納得された先生に主治医になって頂いています。母体の医院や歯科医、整形外科医、皮膚科・眼科の往診も定期的に行われています。又必要に応じて受診の支援もしています。</p>	<p>かかりつけ医を希望する利用者は、家族の協力を得て支援を行っている。事業所の母体である医院が主治医として定期的に訪問し診察をするほか、皮膚科、眼科、歯科なども定期的に訪問診療している。特に腰膝などの整形外科関係も訪問診療で診てもらえるなど迅速で適切な医療が受けられる支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	母体の医院にご利用者様の情報を1日1回送り、主治医の指導をうけ健康管理をしています。職員はいつでも母体の医院に相談出来る体制が整っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が安心して治療を受け早期に退院できるように母体の医院と入院先の病院との連携が出来ており職員も指導を受けながら受け入れの体制を整えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ホーム入所時にご家族にターミナルケアについてお話をしています。また重度化した場合、主治医よりご家族へ状況説明を行いご家族の意向をお聞きし今後の方針を決めさせていただいています。	利用開始時、重症化、終末期前に家族に説明をし同意書に署名してもらっている。実際に重症化した場合、主治医の説明が家族にあり、職員間でも話し合いが行われ、対応を共有しチームで協力してケアに取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	急変の場合は必ず母体の医院に連絡し支持を仰ぎ、往診もしていただいています。またAEDを設置し緊急時に使用できるようにになっています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ホームでの火災訓練は年2回行っています。町内会と災害相互応援協力協定書を交わし災害時の協力体制を強化しています。	災害時の避難方法や、地域との連携協力関係のほか、地震、水害による停電などを考慮して備蓄準備に力を入れている。すぐ食べられる食材、簡易トイレ、おむつや持ちやすい小さいペットボトル、ゼリーなど防災研修から得た情報を活用して備蓄の再検討を行い準備して対応している。	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人おひとりを尊重し、言葉かけや対応についても親しみの中にも節度ある言葉遣いを心掛けたり、誇りやプライバシーを損ねないように十分に配慮するようにしています。	一人ひとりの人格を尊重し、プライドを損ねないためにも、認知症を理解し常に人生の先輩として高齢者を敬う言葉遣いを心がけるよう配慮し対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	いろいろな場面でご本人の思いや希望をお聞きし、日常を送って頂くようにしています。難聴などによりコミュニケーションが難しいご利用者様にも、筆談やスキミングをはかり、職員が思いや希望を表せるように働きかけ、自己決定出来るように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お一人おひとりの生活リズムを把握し、起床や就寝時間もその方のペースに合わせて、お食事の時間も変更しゆっくり食べて頂けるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お化粧品・髭剃り・整容・ネイルケアなど、その方にあった支援をしています。理・美容院についても、希望時になじみの美容院へ行っていただいたり訪問美容の方に来ていただいたりしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付けや味見、後片付けなどに参加して頂いています。主食はご飯やお粥、またパンなど個々に合わせたお食事をご用意させて頂いています。また嚥下の良くない方にはミキサー食を提供しています。ご利用者様のリクエストを伺いメニューに反映させています。	朝食のトーストは時間が経つと固くなるのでフレンチトーストやサンドウィッチにするなど試行錯誤の工夫をして支援している。白菜を切る、食器を拭くなどの利用者が楽しんで準備や後片付けをしている。刺身や焼きそば、てんぷらなどリクエストに反映したメニューで楽しい食事時間となるよう配慮している。	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	毎日新鮮な食材と食べやすい食材を使用 して味や栄養バランスを考えて手作りし ています。水分補給については、毎日何 をどのように摂取されたか嗜好も考慮し 水分管理表を作成し記載しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	歯科医師とも連携をはかり、お一人おひ とりに合わせた口腔ケアに関する指示を 頂き利用者様と一緒にケアに取り組んで います。義歯洗浄剤使用も個別に合わせ て対処しています。1ヶ月に2回歯科の 往診で専門的な口腔ケアをしていただい ています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	職員は個々のご利用者様の排泄間隔やパ ターンを理解し、夜間も出来る限りトイレ での排泄を心がけています。また、排 泄時にプライバシーに配慮した声掛けや 介助を行っています。	排泄パターンを職員が理解共有し、適切 な声掛けを行うことで自立に向けた支援 を行っている。夜間もできるだけトイレ で排泄する自立支援を行っている。現 在、18名の利用者の中で布パンツ2名、 布パンツ+パット2名がいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便表を作成し個人記録と共に毎日 チェックしています。軽い運動や排便に 繋がる飲食物の提供などお一人おひと りに合った支援を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	順番や曜日等決めず、お一人おひとりの ご希望を取り入れながら入浴して頂ける ように支援しています。季節を楽しんで 頂けるようにゆず湯を実施したり、入浴 剤なども使用しています。入浴のない日 には足湯をしていただいたりしていま す。	眠くなりそうな利用者を一番に入浴させ るなどタイミングを考慮したり、入浴順 番を利用者に決めてもらうなど個々の希 望に合わせて入浴を楽しめるよう支援し ている。清潔、安全な入浴場では温度管 理にも配慮して気持ち良い入浴環境を整 えている。	

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣に合わせ、夜間のみでなく日中も安心して休息出来るように対応しています。体調不良時にも、少しでも安楽に過ごせるように室温や湿度等の管理も行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一週間のお薬をお薬カレンダーで管理し、全職員が確認できるようにしています。また、既往歴や服薬内容は個別ケースに管理し情報の共有が図れるようにしています。毎週、薬剤師に個々の服薬状況・体調確認などを行って頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人様の生活歴や力を活かせる役割をもてるように支援しています。出来る限りご本人のご希望や趣味に合わせ、お散歩や日光浴、塗り絵や手芸、脳トレや料理等をして頂いています。また月に一度生け花教室を開催しお花のお好きな方に参加いただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お一人おひとりのご希望に合わせて、近所に買い物に出かけられたり、屋上や近くの公園へ散歩に出かけたり、平和公園や宇品港などへドライブに出かけたりもしています。また帰宅願望のある方には家の前まで一緒に行き、安心につながる様に支援しています。	日常的に一人ひとりの希望により、屋上や近隣の散歩や買い物などに出かける支援をしている。家族が散歩やお茶に連れていくこともある。帰宅願望の利用者には、家までドライブするなど安心してもらえるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	数人の方はご家族様の希望によりお部屋にお金をおかれています。ご本人様が安心してご自分でお買い物出来るように職員が支援しています。		

自己評価	外部評価	項目(2Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご本人様のご希望時にご家族に電話をかけたり、お手紙を出せるように支援しています。ご本人様が携帯電話を持たれている方は自由にお電話して頂いています。また、毎月写真等も添えてお手紙をご家族送り、ご利用者様の様子をお伝えしています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>玄関や廊下の壁面を利用し季節感を感じられるように飾りつけを行っています。ご利用者様のくつろぎの場所である食堂やソファ等の共用の空間は換気や湿度調整を行い、音楽を流し、快適にリラックスして過ごして頂けるようにしています。</p>	<p>共用空間には台所、食堂、一段上がった板の間のくつろげる場所があり、道行く人を眺められ楽しみな居場所となっている。季節ごとの製作物や生花が飾られて居心地よい空間になっており、日中は利用者の多くはここで過ごしている。廊下のソファは語らいの場所になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>廊下のソファや食堂席を上手に利用し、独りになられたり、気の合った利用者同士で過ごしていただけるように工夫しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時にご自宅で使い慣れた物を持参して頂いたり、ご家族の写真を飾って頂いたり、ご自宅の住み慣れたお部屋に近い状態で過ごして頂けるように工夫しています。</p>	<p>テレビ、鏡台、タンスなど使い慣れたものや趣味のものなど飾って居心地よく過ごせるよう配慮している。居室を間違えないようドアの前に半円の色のシートを張るなど工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下やトイレには手すりを設置をし、ホーム全体がバリアフリーの配慮をしています。個々の居室入口に目印をしたり、トイレや洗面所にも案内プレートを設置しご利用者様が迷われないように工夫しています。</p>		

V アウトカム項目(2Fユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ご利用者様お一人お一人の尊厳を守り、豊かで素晴らしい人生を送って頂けるよう理念を見えやすいところに掲示したり、業務やミーティングを通して共有し、話し合いを持ち日々実践できるよう心がけています。今年度は毎月、目標を設定しより実践しやすいようにしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	町内会に入り近隣の方々と交流できるよう努めています。今年度はようやく行事が再開されたためお祭りに参加させていただいたり、地域の太正琴のボランティアの方に来ていただき演奏をしていただきました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	包括センターから出ている支えあいマップにホームを紹介していただいています。またお電話等の相談を受けたり、いつでも気軽にホームを見学していただけるように対応しております。今年度は6月より今まで通り中に入って見学をして頂けるようになりました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、町内会長さんや副会長さんまた包括センターの方やご家族、スタッフ、施設長等が参加しホーム内の報告や意見交換を行っています。会議で話し合った内容を検討しホームの改善に役立てています。昨年より身体拘束委員会を会議内で話し合っています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括センターの方に地域のお年寄りの方の情報や地域のボランティアの方をご紹介いただいたりしています。また同じ区のグループホームの方との話し合いの場を作っていただき意見交換をさせていただいています。今年度は8月に宇品公民館で行いました。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>夜間の職員の体制が少ない時間帯以外は、玄関の施錠はせずご利用者様がご自分の家庭のように自由に生活出来るように心がけています。徘徊の危険のある方にはGPSを携帯していただいています。身体拘束適正化のための指針を作成し運営推進会議内で身体拘束廃止委員会を設立しています。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>継続的に外部研修（リモート）に参加し、その資料を利用しミーティング等で話し合いをしたり、虐待や拘束にあたる内容を職員全員で確認できるようにしています。また、職員にむけてのアンケートを行い自己評価してもらう機会をつくっています。今年度はホーム内で意見交換をしたりネットなどで情報を得て皆で共有しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>資料などを入手し、必要時には関係者と話し合い、支援を行っています。現在、1人の入居者の方に後見人の方がつかれています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に関してはご利用者様やご家族に入所時に説明を行い、ご理解いただくよう努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族にお電話でご要望をお聞きしたり、ご意見箱を設置したり、ご面会時や運営推進会議でも直接ご意見やご要望を聞かせていただいています。聞かせていただいたご意見はできるかぎり反映させていただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	1ヶ月に1度のホーム全体のスタッフミーティング等で職員の意見や提案を聞き、できるかぎり反映できるように心がけています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の努力や実績、勤務状況を把握しそれを基に個々に評価するように努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	各自のレベルに合った研修に積極的に参加を促し資格(介護福祉士・介護支援専門員)を習得するようにアドバイス・援助もしています。外部研修を受けるばかりでなく、日頃のケアを見直すきっかけとなるように先輩から後輩にアドバイスしたり、本や研修動画などを使って勉強するように心がけています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同じ地域のグループホームの方と話し合いをしたり、他のグループホーム主催の研修に参加し、意見交換をさせていただいています。コロナのため今年度は8月に意見交換をしました。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。	入所前にご本人やご家族に面会し普段の様子やご要望など細かくお話を伺っています。また、入所前の担当のケアマネージャーの方や主治医の先生にも情報をたくさんいただけるようにご協力頂き、職員間で情報を事前に共有し安心して入所いただけるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入所前よりご家族からご要望等を伺い、何度も話し合いをしてより良い信頼関係が築けるよう努めています。入所にあたり不安がぬぐい取れない場合には、仮入所の導入もしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様やご家族のご相談内容に合わせ、主治医、他サービス事業者と連携をはかり柔軟に対応するように努めています。定期的に外出希望がある方や以前よりデイサービスを利用されていた方に対しては外部デイケアサービスの利用を支援し要望に応えられるようにしています。現在はお休みしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者様と一緒に時間を過ごしながら喜怒哀楽を共にし、また人生の先輩として色々教えて頂きながら暮らしを共にする者同士の関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様により良い支援が出来るようご家族と職員とのカンファレンスを行いご要望やご意見を伺いケアプラン等に活かしています。今年度はやっと面会時にお話出来るようになりました。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族のご協力のもと自宅へ外出や外泊、またスタッフと近所のスーパーへの買い物や時にはご自宅周辺へ出掛けられるよう支援しています。またホームへ近隣のお友達やお知り合いの方に気軽に遊びに来ていただくようお声かけをさせていただいています。6月より今まで通りになりました。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	毎日の日課として出来る方を中心に家事へ参加していただいたり、2F、3F共同でレクリエーションをしたりフロアを気軽に行き来できるよう心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても必要に応じてお手紙・電話等にてご連絡をし、またご要望があればいつでも支援できるように努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お一人お一人の生活スタイルを大切にその方に合わせた日課の構築に努めています。家事のお好きな方にはお料理を手作業がお好きな方には塗り絵や手芸を外出がお好きな方には日光浴や散歩に出かけるなどできるかぎりご希望に添えるように心がけています。常にご本人様の立場になって考えられるよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時よりご本人様のこれまでの生活歴等できるだけたくさんの情報収集を行ったり、日々の生活の中での会話でお好きな物や趣味などを伺い、毎日の生活に生かせるよう配慮しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員は毎日の生活の中でバイタルや水分・食事量や排便のチェックによる健康管理を行い、観察等により心身状態を把握するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は入所時より定期的に作成しています。ケアカンファレンスにはご本人、ご家族、主治医、薬剤師等の意見を反映させ、状況に応じて話し合いを設け柔軟に変更できるようにしています。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケアプランに合わせて個別記録を作成しています。日々の様子をしっかり把握できるように薬、歩行状態、体調の変化等を記載し職員間で情報を共有しより良いケアの実践に活かしています。また一ヶ月毎にモニタリングをおこない、介護計画の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様やご家族のご要望に応じてデイケアサービスを利用させていただいたり、母体の医院と連携をはかり、必要時に往診や通院も出来るようにしています。その他にも（整形外科・皮膚科・歯科・眼科）などの多様な科の先生に往診していただき診察していただいています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内の方にお手伝いいただいて行事を行ったり、町内主催の催し物に参加させていただいたりしています。また同じ区の警察や消防の方とも連携をはかり安全に生活できるよう支援しています。今年度は地域のお祭りに参加させていただきました。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様の納得された先生に主治医になって頂いています。母体の医院や歯科医、整形外科医、皮膚科・眼科の往診も定期的に行われています。又必要に応じて受診の支援もしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	母体の医院にご利用者様の情報を1日1回送り、主治医の指導をうけ健康管理をしています。職員はいつでも母体の医院に相談出来る体制が整っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が安心して治療を受け早期に退院できるようにに母体の医院と入院先の病院との連携が出来ており職員も指導を受けながら受け入れの体制を整えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ホーム入所時にご家族にターミナルケアについてお話をしています。また重度化した場合、主治医よりご家族へ状況説明を行いご家族の意向をお聞きし今後の方針をきめさせていただいています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変の場合は必ず母体の医院に連絡し支持を仰ぎ、往診もしていただいています。またAEDを設置し緊急時に使用できるようにになっています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ホームでの火災訓練は年2回行っています。町内会と災害相互応援協力協定書を交わし災害時の協力体制を強化しています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人お一人を尊重し、言葉かけや対応についても親しみの中にも節度ある言葉遣いを心掛けたり、誇りやプライバシーを損ねないように十分に配慮するようにしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	いろいろな場面でご本人の思いや希望をお聞きし、日常を送って頂くようにしています。難聴などによりコミュニケーションが難しいご利用者様にも、筆談やスキンシップをはかり、職員が思いや希望を表せるように働きかけ、自己決定出来るように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お一人お一人の生活リズムを把握し、起床や就寝時間もその方のペースに合わせて、お食事の時間も変更しゆっくり食べて頂けるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お化粧品・髭剃り・整容・ネイルケアなど、その方にあった支援をしています。理・美容院についても、希望時になじみの美容院へ行っていただいたり訪問美容の方に来ていただいたりしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付けや味見、後片付けなどに参加して頂いています。主食はご飯やお粥、またパンなど個々に合わせたお食事をご用意させて頂いています。また嚥下の良くない方にはミキサー食を提供しています。ご利用者様のリクエストを伺いメニューに反映させています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	毎日新鮮な食材と食べやすい食材を使用 して味や栄養バランスを考えて手作りし ています。水分補給については、毎日何 をどのように摂取されたか嗜好も考慮し 水分管理表を作成し記載しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	歯科医師とも連携をはかり、お一人お一 人に合わせた口腔ケアに関する指示を頂 き利用者様と一緒にケアに取り組んでい ます。義歯洗浄剤使用も個別に合わせて 対処しています。1ヶ月に2回歯科の往 診で専門的な口腔ケアをしていただい ています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	職員は個々のご利用者様の排泄間隔やパ ターンを理解し、夜間も出来る限りトイ レでの排泄を心がけています。また、排 泄時にプライバシーに配慮した声掛けや 介助を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便表を作成し個人記録と共に毎日 チェックしています。軽い運動や排便に 繋がる飲食物の提供などお一人お一人に 合った支援を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	順番や曜日等決めず、お一人お一人の 希望を取り入れながら入浴して頂ける ように支援しています。季節を楽しんで頂 けるようにゆず湯を実施したり、入浴剤 なども使用しています。入浴のない日 には足湯をしていただいたりしています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣に合わせ、夜間のみでなく日中も安心して休息出来るように対応しています。体調不良時にも、少しでも安楽に過ごせるように室温や湿度等の管理も行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一週間のお薬をお薬カレンダーで管理し、全職員が確認できるようにしています。また、既往歴や服薬内容は個別ケースに管理し情報の共有が図れるようにしています。毎週、薬剤師に個々の服薬状況・体調確認などを行なっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人様の生活歴や力を活かせる役割をもてるように支援しています。出来る限りご本人のご希望や趣味に合わせ、お散歩や日光浴、塗り絵や手芸、脳トレや料理等をして頂いています。また月に一度生け花教室を開催しお花のお好きな方に参加いただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	お一人お一人のご希望に合わせて、近所に買い物に出かけられたり、屋上や近くの公園へ散歩に出かけたり、平和公園や宇品港などへドライブに出かけたりもしています。また帰宅願望のある方には家の前まで一緒に行き、安心につながる様に支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	数人の方はご家族様の希望によりお部屋にお金をおかれています。ご本人様が安心してご自分でお買い物が出来るように職員が支援しています。		

自己評価	外部評価	項目(3Fユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様のご希望時にご家族に電話をかけたり、お手紙を出せるように支援しています。ご本人様が携帯電話を持たれている方は自由にお電話して頂いています。また、毎月写真等も添えてお手紙をご家族送り、ご利用者様の様子をお伝えしています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関や廊下の壁面を利用し季節感を感じられるように飾りつけを行っています。ご利用者様のくつろぎの場所である食堂やソファ等の共用の空間は換気や湿度調整を行い、音楽を流し、快適にリラックスして過ごして頂けるようにしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下のソファや食堂席を上手に利用し、独りになられたり、気の合った利用者同士で過ごしていただけるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入所時にご自宅で使い慣れた物を持参して頂いたり、ご家族の写真を飾って頂いたり、ご自宅の住み慣れたお部屋に近い状態で過ごして頂けるように工夫しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下やトイレには手すりを設置をし、ホーム全体がバリアフリーの配慮をしています。個々の居室入口に目印をしたり、トイレや洗面所にも案内プレートを設置しご利用者様が迷われないように工夫しています。		

V アウトカム項目(3Fユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームもみじの里

作成日 令和6年1月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	日常的な外出支援。	お天気の良い日の外出や外部行事などの参加。	お花見やドライブ、散歩、イベントなどの参加を積極的に行う。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。